



やまなし

第68号 2008年8月6日(年3回発行)

巻頭言

「やるべきこと」を「やっている」

医療法人 石和温泉病院
広田 真由美

ここ数年、一年経つのが本当に早いように感じます。つい先日に入職した職員に後輩ができ、まだまだ子供だと思っていた職員が結婚・出産する…。その一方、介護保険被保険者である私は、肌の細かな皺が目立ち始め、シャワーの水は弾かなくなり、少し動くと腰痛が響く…。早寝早起きが習慣化し、夜中のトイレ回数も増える…。作業療法士になって20年が経ち、職業人としての折り返し地点にやってきたわけです。

「このままでいいのか？」

「何かやらないと…」

「何ができる？」

しかし、体力の限界は疲労感をより一層強め、ただの口うるさいおばちゃんへと移行しつつあります。やはり、元来の「世話焼き根性」はいまだ健在であり、そんな私に付き合ってくれている後輩たちに感謝するだけです。

平成20年度に入り、こんな私のわがままに付き合ってくれる…？新たな仲間達を迎えることとなりました。しかし、今年の国家試験の合格率は73.6%…。皆さんはどう思われたでしょうか？

—こんなに低かったのかあ…

—思ったより、合格率はよかったね！

—問題が難しかったの？

—学生の知識レベルが下がってきたのかなあ…

—国は、作業療法士削減にかかっているのか？

—今年が受験でなくてよかった！

良くも悪くも同じ職種を目指す後輩達の心情を思うと、やりきれない念を抱かざるをえません。ここ数年、山梨県内の多くの職場では「国家試験不合格＝解雇」の流れが定着しつつあります。これは、近年の診療報酬改定がきっかけとなっているように思われます。作業療法の診療報酬単価の引き下げとともに、制約された期間の中での「効果」を決定的に義務付けられ、私が就職した20年前の「良き時代」は、もはや過去の産物となってしまいました。ゆっくりとした時間の流れは対象者自身の悲壮感を癒し、それと同時に将来に対する安堵感を得る貴重な時間でした。また、セラピ

もくじ

1p～2p	巻頭言
3p～4p	新役員の紹介
5p	山梨県作業療法学会報告
6p	活動分析研究大会報告
7～8p	老健だより
9p	精神科だより
10～11p	職場紹介
12p	Book Watching
13p	理事会だより
14p	会員情報
18p	各種申請書変更のお知らせ
	・ 編集後記

スト自身も対象者の方々に支えられ、ゆっくりと大きく成長することができました。しかし、現状の診療体制の中ではそんな時間的猶予はありません。対象者やご家族が今後の生活をゆっくりと考える「ゆとり」はなく、私達への大きな期待を抱きながらリハ算定日数を過ごしていきます。膨れ上がる医療費の削減対策とはいえ、新たに引き起こされたこれらの問題は、大きな社会現象となっています。

しかし、私にとっては作業療法士としての専門性を再認識するよい機会となりました。対象者の今後の生活を見据えた中で、

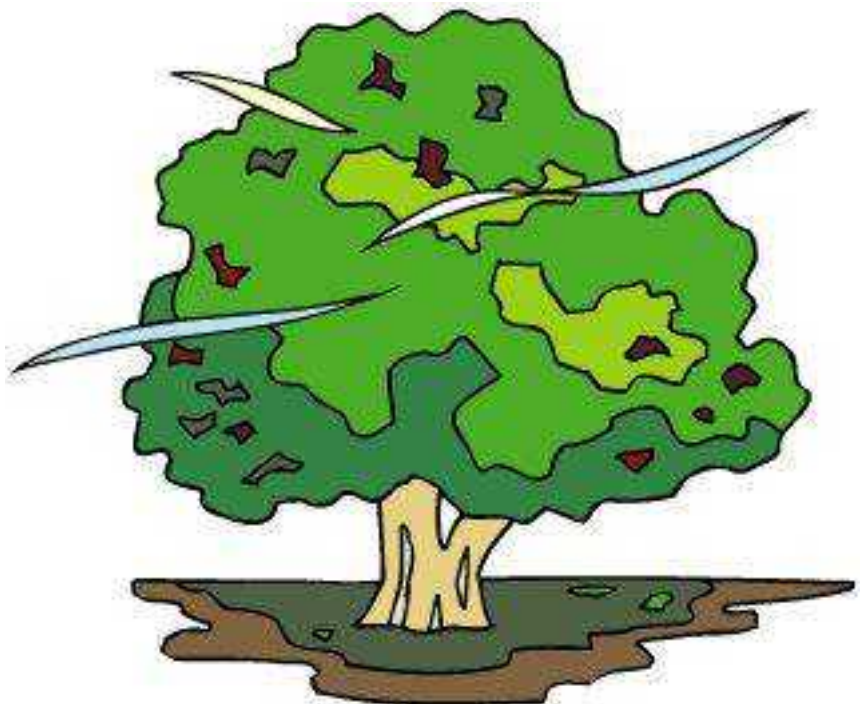
「今、何が必要なのか？」

「今の自分に何ができるのか？」

「足りない情報は何か？」

と試行錯誤し、与えられた時期で「やるべきこと」を明確にする必要がありました。ベテラン OT も新人 OT も関係なく、「やるべきこと」への気付きから知識・技術の習得を図り、実践への引き出しを重ねていくことが大切です。そして、急性期～回復期～維持期における「やるべきこと」の連携から、対象者やご家族の「ゆとり」が作り出されるのではないかと考えています。

私が新人の頃は、20～30 人の患者様の診療が当たり前でした。今は、8～10 人でもグッタリしてしまいます。これは、私が年齢を重ねたから… とは理解しがたく、「やっているやるべきこと」の質・量が変わってきたためだと信じています。しかし、一貫して変わらないことは「対象者・その人を観る」ということです。このことは今後も決して変わることはなく、「OT の専門性」の基盤となるものです。みなさんも、作業療法士としての「やるべきこと」を「やっている」のかどうか、今一度確認してみてください。そして、その中に存在する「OT の専門性」を見つけ出し、発見から発展に繋げていって欲しいと思います。



平成 20 年・21 年度 新役員の紹介

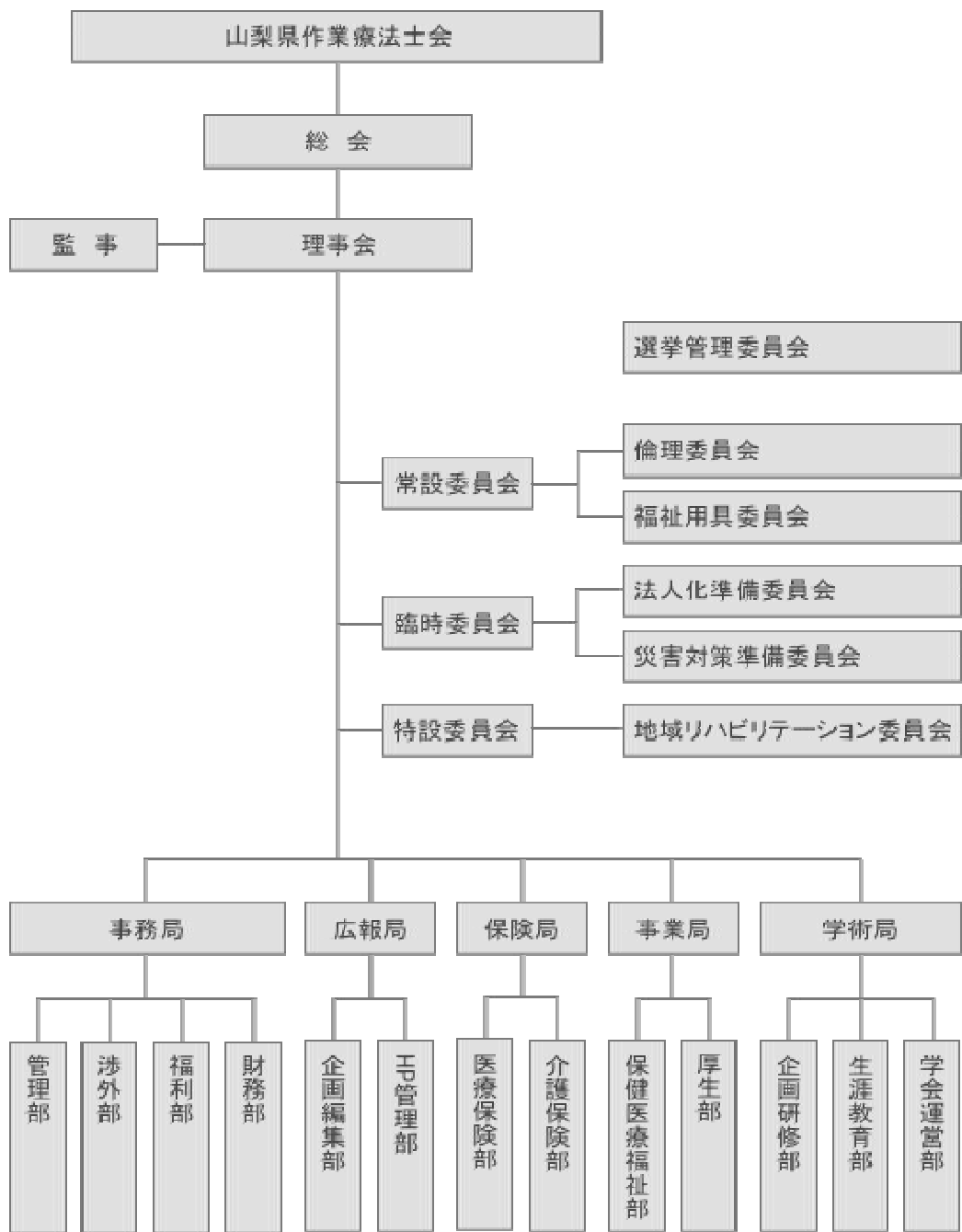
平成 20 年 5 月 8 日（木）に行われました定期総会において新役員が決定しましたので紹介させていただきます。

会 長	山本 伸一		山梨リハビリテーション病院
副会長	川崎 加代	事業局・学術局・常設委員会 特設委員会担当	住吉病院
	広田真由美	事務局・広報局・保険局 臨時委員会担当	石和温泉病院
理 事	青木 栄一	保険局担当	山梨リハビリテーション病院
	飯野 知一	広報局担当	竜王リハビリテーション病院
	磯野 弘司	特設委員会担当	春日居リハビリテーション病院
	工藤 亮	学術局担当	山梨リハビリテーション病院
	黒崎 真樹	学術局担当	帝京医療福祉専門学校
	野田 真弓	事業局担当	介護老人保健施設 峡西老人保健 センター
	古屋 豊美	常設委員会担当	山梨厚生病院
	松田 智子	学術局担当	住吉病院
	三瀬 和彦	事務局・臨時委員会担当	甲府城南病院
	山田 稔	事業局担当	富士温泉病院
監 事	佐田 剛		石和共立病院
	中村 雄		健康科学大学

今後とも山梨県作業療法士会の発展に努め、盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。



組織図



第 2 回山梨県作業療法学会を終えて

学会長 山本伸一

平成 20 年 3 月 16 日（日）、第 2 回山梨県作業療法学会が開催されました。テーマは「再発見！～OT のこれからを創造する～」。

当日は、約 250 名の作業療法士が集結しました。若く、活気あふれる大会であったと感じたのは私だけでしょうか。会員の皆様もそう感じたに違いないと思います。

今年のプログラムは、ねらいもありました。作業療法は多方面で活躍しているものの、核はひとつです。しかし、医療・福祉の現実には機能分化されていることもあって、それを見えにくくしているのではないのでしょうか。作業療法とは？それを再確認、そして再発見することができればという思いが、このプログラム内容となりました。回復期リハビリテーションの多い山梨県。それに特化されているかのような地域です。我々は ADL だけでなく、その先はどうかということを見据えなくてははいけません。特別講演の中村春基先生には、「生活」そして「生きがい」をテーマに展開されました。教育技術講座の講師陣は、精神部門として辻貴司さんと原京子さん、身障部門からは関谷宏美さんと佐藤真一さんでした。どれも「作業療法って、すごい！こんな見方があるんだ！」と感じたでしょう。私自身もそうでした。なんだか嬉しくもありました。情報発信と共有の大切さを教えられたと思います。講師の皆様、ご苦勞様でした。そして、ありがとうございました。一般演題・新人教育プログラム発表も充実していました。演者の皆様、大変だったと思いますが、この経験は素晴らしいものです。それぞれのなかで自信となったことでしょう。ご苦勞様でした。

盛大な学会でしたが、その裏には 44 名の準備委員の隠れた努力とチームワークがあったことも忘れてはいけません。約半年前から企画を練っていた皆さん、あなたたちは輝いていましたよ。山梨県士会の仲間にはかけがえのない宝です。本当にありがとう。

最後になりますが、この素晴らしい学会は継続しましょう。お互いの力は小さくても集まればこんなに大きくなります。お互いが元気になります。また来年も会いましょう。



『第20回活動分析研究大会』を終えて

竜王リハビリテーション病院 吉金直美

5月17日・18日、晴天の中、記念すべき第20回活動分析研究大会が行われました。全国から約1800名のセラピストが集結し、昨年に増して盛大な大会であったと思います。『環境適応III』をテーマに、1日目は一般演題・ポスター演題・ワークショップが行われ、2日目はワークショップ発表・指定演題・特別演題が行われました。

様々なテーマに分かれた17会場の中で、私は『Activity』の会場で機材係として進行の手伝いをさせていただきました。機材係の仕事内容はタイムテーブルの把握や調節・ビデオ操作・マイクなどの音響調節といったものです。初めての機材係だったので、スムーズな進行の手助けが出来るか不安もありましたが、一緒に担当した人達の協力もあり、大きな混乱もなく、終わることが出来ました。機材や流れの把握のみならず、臨機応変にその場の状況に対応すること、一緒に担当する人達と常に確認し合い協力することの大切さを感じました。また、進行の手助けをする傍ら、演題を通して、各先生方の治療展開の工夫・対象者と向き合う姿勢を拝見し、感銘を受けるとともに治療のポイントなど学ばせてもらう事も出来ました。そして私自身演者として、高次脳機能障害を抱える対象者との関わりで考えたことを発表させて頂き、貴重なアドバイスや感想をいただくことも出来ました。発表をすることで、自分の治療を振り返ったり、今後の課題の発見となり、視野を広げるチャンスになっていたと思います。ポスター演題では実技を交えて行われ、治療に生かせるよう、参加された方が熱心に取り組まれる様子が伺えました。ワークショップは、一人の対象者に対して、みんなで問題点の抽出や治療の進め方などの討論や模索が行われ、とても活発な意見交換がなされていました。

2日目は残念ながら参加できなかったのですが、冊子を通して感じた事・学ばせてもらったことを書かせてもらいます。まず、指定演題では、山梨リハビリテーション病院、作業療法士の青木栄一先生をはじめ、3名のOTの先生の講演が行われました。対象者が抱えている課題に対して、細かな分析・原因追求がなされ、その上で、対象者の反応に基づく治療の段階付けがなされていました。その中で、対象者がどんどん変化していき、活動の幅が広がっていく様子が見えました。対象者と向き合うということは、的確な評価や仮説・そして対象者の反応をまた振り返り、修正や追及をしていくという繰り返しの中で成り立つものだと感じました。私自身まだまだ不十分なので課題でもあります。そして、柏木正好先生の特別講演では、継続することの難しさ・大切さを感じました。探究心や向上心を持ち、自己研鑽していくこと・真摯にOTとしての誇りをもって対象者に関わっていくことを学ばせてもらいました。

20年間続くこの会は、先輩方の情熱や努力があってこそ継続してきたのだと感じます。また来年、参加させていただき、今の自分が少しでも前進している様に、日々の診療に励みたいと思います。

老健だより

介護老人保健施設 いちのみやケアセンター
河野 順一

介護老人保健施設（以下、老健施設）いちのみやケアセンター（以下、当センター）は周囲を桃や桜の樹々に囲まれ（ぜひ、ホームページをご覧ください）、南アルプス連峰や大菩薩嶺、秩父連峰など、周囲の山々を一望できる旧一宮町（現笛吹市）に平成6年6月に開設されました。3階構造になっており、1階は通所リハビリテーション（定員17名）、2・3階は入所（定員100名）の対応を行っています。また、金川の森に隣接するグループホーム「芙蓉」（定員18名）を平成15年7月に開設しました。

リハビリテーションスタッフは、非常勤理学療法士7名と常勤作業療法士として河野 順一が勤務し、早くも2年が経過しました。老健施設での作業療法士として入所・通所の利用者様への個別リハビリテーションをはじめとして、他職種スタッフの協力によって充実したサービス提供をできるようになりました。

今回はそんな当センターの明るく楽しく、そして激しい年間行事を紹介したいと思います。

- 1月・新年祝賀会（新しい年をお祝いし、賑々しく獅子舞や二人羽織を行います）
- 2月・節分（激しい形相の鬼に扮装した職員に豆を当てて邪気を払います）
- 3月・雛祭り（雛人形のような可愛い幼稚園児が歌や踊りを披露してくれます）
- 4月・お花見会（日本一の桃の花々を堪能しながら、昼食に舌鼓を打ちます）
- 5月・さつき祭り（樹々の新緑や季節の花々を鑑賞しながら、お茶を一服します）
- 6月・小運動会（激しい玉入れや物運び競争などで爽やかな汗を流します）
- 7月・七夕祭り（可愛い織姫、彦星の幼稚園児が短冊の願いを読んだり歌を披露します）
- 8月・納涼会（夕方の涼を満喫しながら、スイカ割りやカラオケなどで盛り上がります）
- 9月・敬老会（入所・通所の利用者様に深い敬意を表し、歌や踊りを披露します）
- 9～10月・ぶどう祭り（隣接のぶどう園へ出向き、甘～いぶどうを堪能します）
- 11月・文化祭（入所・通所の利用者様の作品はもちろん、職員の作品も展示します）
- 12月・クリスマス会（酷寒の冬をハートウォーミングなひとりで心身ともに暖めます）

このような催しを他職種スタッフ一丸となって企画、運営し、寒暖の差が激しい山梨で風光明媚な環境の中、四季のうつろいを入所・通所の利用者様に体感していただくとともに、利用者様と職員のコミュニケーションを密接にはかれるようにしています。

また、健康体操として他職種スタッフの協力のもと、車椅子や椅子に座っているがらの全身体操を毎日行ったり、毎週金曜日にはレクリエーション委員会（リハも含まれる）が中心となってレクリエーション活動、日曜日にはクラブ活動を行い、入所者様同士の交流や職員とのさらなる交流、信頼の充実をはかっています。

その他、老健施設には入所継続判定会議、サービス担当者会議など入所者様や御家族、他職種との連携を密にはかる会議があります。少しでも満足していただけるサービスを話し合い、忌憚のない意見交換が展開され毎週開催しています。

特にリハビリテーション実施計画書は入所者様の現在可能なADLや遂行しているリハビリテーションの内容、御家族にお伝えしたいことなどを詳細に明記し、3ヶ月に一度郵送して御家族とリハビリテーションスタッフと入所者様が三位一体に近づくよう努力しています。

まだまだ、他にも業務はたくさんありますが、今回は、その一端を紹介させていただきました。これからも微力ですが、すべての利用者様のために尽力していく所存です。

山梨県作業療法士会ホームページ開設のお知らせ

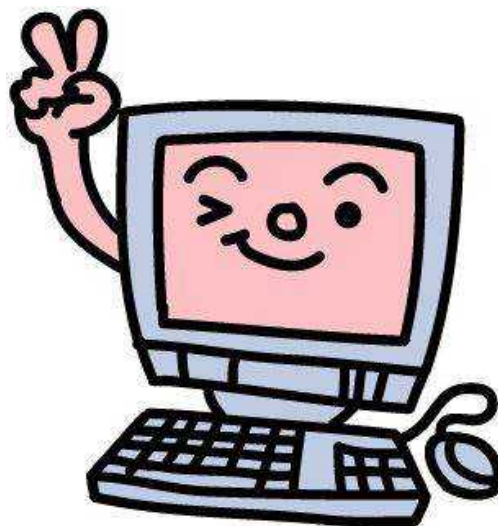
このたび、会員の皆さんからもご要望のあったホームページを平成20年7月より開設しました！これから、皆さんの情報交換・共有の場として活用していただければと思います。すでに閲覧された方も多いかと思いますが、まだという方は是非この機会にアクセスしてみてください。アドレスについては以下の通りです。

<http://ot-yamanashi.org>

また、ホームページに関するご意見・ご要望等ありましたら、以下のメールアドレスかホームページの「お問い合わせ」からご連絡ください。

e-mail : webmaster@ot-yamanashi.org

更新は随時行っていきますのでご期待ください！



精神科だより

(財) 住吉病院 作業療法室
小林 香織

私は、精神科単科の病院で働いている。作業療法士として働くようになってから 3 年。後輩が出来たり、グループを任せてもらえたり、個人 OT を行ったりと責任ある仕事が増えている。患者さんとの関わりの中では、毎日“楽しい”と思えることが多い。患者さんと関わっていると自分が癒されてしまうこともある。これは幸せなことだなーと感じる。

一方で、治療者として患者さんを診ていく中での活動の選択に悩むことが多々ある。グループでの活動でも、どんな活動を提供すれば楽しんでもらえ、効果が出るか。やってみなければ答えが出ないことがほとんどで、毎日が勉強、そして発見である。

グループの活動では、閉鎖病棟の患者さんのグループを担当させてもらう中で、季節感を感じられる手工芸的な活動や体を動かせるゲームなどの活動を取り入れている。今日は患者さんの反応もよく、良かったなーという思うことや、取り入れた活動を患者さんが理解できず失敗したこともあった。そんな時には、相談できる先輩作業療法士がいるので、失敗したとしても“こうすればよかったんじゃない？”“次はこうしてみようよ。”と一緒に考え、プラスのフィードバックを貰う中で、自分自身も安心してグループ活動を計画し、実践できているように思う。失敗を恐れずにチャレンジできる環境に感謝している。

ある患者さんには「次は何すれば良い??」と言われることがある。

患者さんの好きな活動を選べば良いのか…?

“エビデンス”に基づいた活動の選択は難しい。患者さんにとっての作業療法が、治療者が活動を提供しながらも、患者さん自身が活動を選んで楽しめるような作業療法になって欲しいと思う。

その為には、私自身が活動それぞれの特性や効果を再確認した中で、患者さん達に活動を提供できる力をさらにつける必要があると感じている。



職場紹介

帝京科学大学

Teikyo University of Science and Technology



生まれ変わった帝京科学大学

桜、桃、菜の花にレンギョウ。深い緑、湧き出る水、そして流れの速い川。帝京科学大学は、そんな山梨県の美しさを醸し出す上野原市の高台に位置しています。理工系学部を機軸として教育研究が行われてきた帝京科学大学ですが、2008年、医療科学部（作業療法学科・理学療法学科）、環境生命学部（生命環境学科・環境科学科・アニマルサイエンス学科）、こども学部の3学部編成で新しくスタートしました。

本学長の沖永荘八を筆頭に、83名の常勤教員のもとに、現在2,026名の学部生、62名の大学院生が「人と自然の調和を目指す 21世紀の科学技術を身につけること」を目的に学びを進めています。

作業療法学科の紹介

作業療法学科は、理学療法学科とともに、今まで山梨県で長く作業療法教育に携わってきた帝京医療福祉専門学校を、大学教育へと発展させるために創設されました。本学科では6名の作業療法士、3名の医師（リハビリテーション、精神科、内科）、そして2名の共通科目教員の計11名が学生の教育・指導にあたります。



定員は1学年40名。学生は、作業療法士となるための専門教育を受けることはもとより、一般共通科目や、選択科目を通して、作業療法士となるための資質を養っていきます。学生は、4つの新しく作られた教室、基礎医学実習室、ADL室、アクティビティ実習室、評価実習室、補装具実習室などを利用しながら、作業療法の対象となる方に真摯に向き合える姿勢、知識、技術を身につけていきます。

写真：医療科学部棟



当学では、ロボット犬の開発、乗馬療法の普及、アニマルセラピーの試みなど、すでに様々なリハビリテーションに関わる領域の実践が行われており、学生は希望に応じてこのようなクラスも選択できます。本年は、開設年のため定員には達していませんが、いずれの学生も、作業療法士になるための意欲に満ちております。

よろしくお願いします！

地域、そして時代が求める要請に応えられる作業療法士の育成を目的に帝京科学大学作業療法学科はスタート致しましたが、激しい新設校ラッシュに出遅れた形であることは否めません。

このような中、実習の指導など、皆様をお願いすることが多々あるかと存じております。皆様のご指摘・ご協力をいただきながら、よりよい作業療法教育を進めて参りたいと考えております。



また、作業療法をより広め、確実なものとしていくために、臨床で活躍される皆様と協力しながら研究活動などを進めていくことを考え、山梨県作業療法士の方が使いやすい図書館整備なども考えております。ご要望等ございましたら、どうぞお伝えください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

- 医療科学部長/作業療法学科長 教授 三上昌弘

- 専門教員（作業療法士）

教授 椎名 喜美子

教授 近藤 知子

講師 長谷川 辰男

講師 大関 健一郎

講師 船山 朋子

助教 竹嶋 理恵

- 専門教員（医師）

教授 鈴木 幹夫

教授 萩原 宏毅

- 共通基礎科目主任 教授 小室 元政

- コミュニケーション科目主任 教授 山本 涼一

住所； 山梨県上野原市八ツ沢 2525 Tel； 0554-53-4411

URL； <http://www.ntu.ac.jp/index.html>

BOOK WATCHING

作業療法の詩

山根 寛 著
青海社 1800 円



作業療法士となり、療養型病床で勤務してから丸々二年が経ちましたが、患者様に対して自分は何が出来るのか、どのように接していけばいいのか…。その明確な答えが見つからず、また、その答えを探して専門書を読み、アプローチを行った後でも、これでよかったのだろうか？と、また“答え”を探している。そんな繰り返しの日々です。それでも、いつか自分も先輩方のように、自信を持って作業療法を行っていいのではないかと。つまるところ、作業療法の攻略法が見つかるのではないかと。そんな都合のいい思いを抱いていた頃、この本を書店で見つけました。

自分を奮い立たせてくれる、そんな答えが載っていればいいな。と都合のいい事を考えながら読み始めてみましたが、中に書いてあったのは、受け身的な私を導く力強い格言などではありませんでした。そこに書いてあったのは、著者が臨床で体験し、悩み、乗り越えてきた末に、論文や教科書（参考書）では表現する事の出来なかった、作業療法への思い。その思いを屈託の無い言葉で書き記した、純然たるポエムだったのです。

本書は、作業療法について、作業活動について、障害を持つ方との関わりについて…といった内容ごとに八章に分類して書かれており、まとめ書きからは、それぞれのポエムを書くに至った経緯が書かれています。

「臨床の日々、作業療法とは何か、自分が体験した確からしさを、どのように伝えればよいか、確認すればよいかを考えるなかで、作業する「からだ」から、専門の用語や意味記号としての意味をもちいない「ことば」がこぼれ出るようになった。」（本書より抜粋）

この書き出しの言葉の通り、本書には著者が長年、作業療法士として体験したからこそ書けるであろうポエムが書かれています。言い換えれば、臨床三年目の読解力では、共感するに至ることの出来ないものもありました。ですがその事は私に、先輩方も悩みながら作業療法を行ってきたのだという事と、自分なりの“答え”となる「ことば」を悩みながら探していこう、という二つの思いを抱かせるものでした。

感想は人によって変わるものですが、数年後私自身が本書を読み返す時、感想が変わっているんだろうなと思わせる。また、共感出来るように成長していきたいと思います。そんな期待を持たせてくれる一冊です。

（恵信甲府病院 内藤和也）

理事会だより

平成 19 年度 11 月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成 19 年 11 月 6 日（火）

場所：甲府城南病院作業療法室

出席者；佐田、中村圭、久保田、三瀬、前田、諏訪、和氣、黒崎、佐藤、藤本、岩間、岩井、青木、廣田、古屋、大久保、工藤、眞壁、磯野、海野、計 20 名

1、会長（佐田）

- 1) ふれあいリハビリ交流大会を今後、リハビリテーション週間に位置づけていく。

2、事務局（三瀬）

- 1) 役員改選における選挙管理制度導入について
- 2) 選挙管理委員会 委員長及び委員について
- 3) 山梨県作業療法士会組織について
- 4) 臨時総会及び役員選挙のお知らせについて

3、生涯教育部（和氣）

- 1) 生涯教育制度推進委員会報告

平成 19 年度 12 月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成 19 年 12 月 4 日（火）

場所：甲府城南病院作業療法室

出席者：佐田、中村圭、久保田、中村雄、山本、三瀬、飯野、和氣、黒崎、佐藤、藤本、岩間、岩井、青木、古屋、廣田、大久保、工藤、眞壁、川崎、磯野、海野、駒谷；計 23 名

1、事務局（三瀬）

- 1) 選挙管理委員会の委員長及び委員の選出について

平成 19 年度 1 月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成 19 年 1 月 22 日（火）

会場：甲府城南病院作業療法室

出席者：中村圭、久保田、中村雄、山本、三瀬、前田、飯野、諏訪、和氣、黒崎、佐藤、藤本、青木、古屋、廣田、大久保、眞壁、川崎、磯野、海野、駒谷、杉田；計 22 名

1、選挙管理委員会（杉田）

- 1) 選挙管理委員会活動及び予定報告

2、事務局（三瀬）

- 1) 県士会会員の管理について（異動変更申し込み用紙書式、所属先、各委員・部員名簿）；承認
- 3、生涯教育部（和氣）
 - 1) 認定作業療法士について；証明書発行
- 4、記念品について、ボールペン(1000 本で 7 万円)；承認

平成 19 年度 2 月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成 20 年 2 月 19 日（火）

会場：甲府城南病院作業療法室

出席者；佐田、久保田、山本、三瀬、前田、飯野、諏訪、和氣、佐藤、藤本、岩間、岩井、青木、廣田、大久保、眞壁、川崎、磯野、海野、駒谷 計 20 名

1、会長（佐田）

- 1) 帝京医療福祉専門学校卒業式来賓出席予定

2、事務局（三瀬）

- 1) 県士会会員情報の管理について 入退会・異動・変更申請書の変更 次回広報誌より変更予定
- 2) 計報：大橋 博 先生 永眠 山梨県士会より、弔電にて対応

平成 19 年度 3 月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成 20 年 3 月 12 日（水）

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：佐田、中村圭、中村雄、三瀬、前田、飯野、諏訪、和氣、佐藤、藤本、岩間、岩井、青木、古屋、廣田、大久保、工藤、川崎、磯野、海野、駒谷；計 21 名。

1、会長（佐田）

- 1)健康科学大学卒業式 平成 20 年 3 月 21 日(金)

2、事務局（三瀬）

- 1)H19 山梨作業療法士会名簿が完成

3、事業部（藤本）

- 1)記念品(ボールペン)完成

＜継続事業担当＞（岩井）

- 1)福祉用具住宅改修相談委員 今年度で終了 福祉プラザの相談窓口をどこにするか検討中；来年度の活動方針の中で検討していく(現時点では事務局を窓口として他に振り分けていく予定)

WELCOM NEW FACE

氏名	所属
山本 恭平	石和温泉病院
精進 智規	塩山市民病院
赤池 崇次	介護老人保健施設 はまなす
相川 ちひろ	日下部記念病院
森田 智子	恵信甲府病院
加藤 智也	健康科学大学 健康科学部 作業療法学科
坂井 一也	健康科学大学 健康科学部 作業療法学科
杉山 雄太	甲州リハビリテーション病院
田中 由美	甲州リハビリテーション病院
徳嵩 和美	甲州リハビリテーション病院
三澤 陵	甲州リハビリテーション病院
前田 昴輝	甲府城南病院
山本 芳幸	甲府城南病院
岡 利樹	甲府南ライフケアセンター
渡辺 優	甲府南ライフケアセンター
嶺井 由布子	住吉病院
大関 健一郎	帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科
竹嶋 理恵	帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科
長谷川 辰男	帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科
松村 麻希子	笛吹中央病院
上野 香織	山角病院
中村 美季	山梨県立あけぼの医療福祉センター
桑原 宏和	山梨厚生病院
堀内 美樹	山梨厚生病院
小澤 真一	湯村温泉病院
河西 友美	湯村温泉病院
越水 円香	湯村温泉病院
杉田 香菜子	湯村温泉病院
畑中 真悟	湯村温泉病院
松土 亜希	湯村温泉病院

(敬称略)

＊ この会員情報は、平成20年6月13日現在の事務局情報を元に作成しています。

急性期からの ハンドセラピーをお手伝いします。





脱臼に備え止すだけ。脱臼脱臼

*** スプリント ***

アクアブラストをはじめとする6種類のスプリント素材や、作成例を動画で紹介するCD-ROMなど豊富なバリエーション。

*** エクササイズ ***

術後早期のROMトレーニングに。

酒井医療株式会社
 国分寺営業所
 国分寺市南町 2-1-39 セラミカⅠ 〒185-0021
 Tel: 042-320-2680
www.sakaimed.co.jp

ご家族への思いやりを、確かなカタチに。安全な製品を 安心のサービスで全国へ。



**在宅介護は
お任せ下さい！**

フランスベッドメディカルサービス 株式会社 甲府営業所

〒400-0031 甲府市丸の内3-33-5
 TEL 055-235-9281

わたしたちは人生を毎日楽しんでいただけるよう **3Life** をサポートいたします。

Life①生命

「痛い」「熱い」など、生物としての感覚レベルでの適合

お客さまひとりひとりの身体・機能に合った製品を心をこめて選び、作り、お渡ししています。

義肢装具



車いす



ゲイトソリューションデザイン

Life②生活

「食事」「睡眠」「移動」など、人間としての日常生活レベルでの適合

さまざまな提案をすることにより、生活シーンごとに生じる問題を解決し、より快適な暮らしが出来るようお手伝いをしています。

PPSスイッチ



エアバッグセンサー

ピエゾセンサー



コミュニケーション機器



マイスプーン

Life③人生

「就職」「社会的活動」「レジャー」など、個人としての自己実現レベルでの適合

仕事や趣味・スポーツなど色々なことにトライし、自分らしさを求めるお客さまを深い経験と高い技術力でサポートしています。

川村義肢株式会社

山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188
TEL 055(262)9630 FAX 055(262)0787



帝京科学大学

Teikyo University of Science & Technology.

医療科学部 作業療法学科 開設!



生命環境学部、こども学部との
コラボレーション

帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科・理学療法学科

生命環境学部 生命科学科・アニマルサイエンス学科・環境科学科

こども学部 こども学科



〒409-0193 上野原市ハツ沢2525 TEL 0554-63-4411 (代表)
JR中央線 上野原駅から徒歩8分 / 中央高速 上野原ICから車7分



Official website : www.ntu.ac.jp

介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド
介護保険レンタル

やさしさ と おもいやり お届けします

EST.1993

株式会社 **サソカイゴ**

玉 穂 店 中央市若宮13-4 電:055-274-1152
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 電:055-251-1121



やさしさ・おもいやりを...

有限会社 **グットケア**

当社は在宅福祉を支援する会社です。
下記事業所に、お気軽にご相談ください。



◎住 吉・訪問介護・居宅支援 電055-236-6006

(本部)・福祉用具貸与・販売 住宅改修

○朝 気・デイサービスセンター「笑くぼ」電055-236-6336

○東光寺・訪問介護 電055-236-6556

・デイサービスセンター「よつ葉」電055-236-6344

健康科学大学

◆理学療法学科 ◆作業療法学科
◆福祉心理学科 ◆社会福祉コース・精神保健福祉コース・発達臨床心理コース

〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立 7187

TEL 0555-83-5240 FAX 0555-83-5100 URL <http://www.kenkoudai.ac.jp>



麻痺筋の機能回復トレーニングに — **NEW MODEL**

PAS system

Power Assist Stimulation system PASシステム GD-601

PASシステムGD-601 認証番号219AGBZX00074000

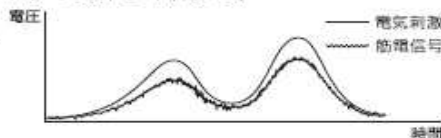


GD-602

より繊細な治療を可能にする
パワーアシストモード

筋電に応じた電気刺激を与え、随意運動をアシスト、「コップをつかむ・離す」等の日常生活に即したリハビリが行えます。

パワーアシストモード(イメージ)



研究開発ご協力先: 慶応義塾大学 月が瀬リハビリテーションセンター

運動介助型電気刺激装置の開発と脳卒中片麻痺患者への使用経験

村岡 康裕 他 理学療法学 第31巻1号 29-35頁(2004)

— デモのご希望は、下記オージー技研営業所へご連絡ください。 —

OG オージー技研株式会社

本 社/〒703-0261 岡山県 岡山市 海吉 1 8 3 5 - 7 TEL(086)277-7181 FAX(086)274-9072
<http://www.og-giken.co.jp/>

営業所/	新 潟	山 口
札幌	新潟	岡山
旭川	富山	広島
仙台	石川	山口
千葉	福井	徳島
埼玉	岐阜	高松
東京	長野	香川
神奈川	大 阪	愛媛
	神 戸	高松
		徳島
		高松
		高松

休診受付コールセンター

☎ 0120-33-7181

受付時間(土・日・祝日 年末年始)

受付時間(土・日・祝日 年末年始)

※本社は、業務上の関係により休診となります。

山梨県作業療法士会 各種申請書変更のお知らせ

これまで山梨県作業療法士会の入会・退会・変更手続きの申請書を広報ニュースにて掲載しておりましたが、この度、手続き及び申請書の変更をさせていただきます。

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又は FAX にてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX：055-241-8660（代） TEL：055-241-5811（代）



編集後記

OT 室を吹き抜ける風がとても心地よい季節になりました。何か新しいことにチャレンジしようと思いつつ、今年も半年過ぎてしまいました。早い……。まあ、平和で平凡な毎日を変わず過ごせればいいとしますか。（み）

先日、初テニスをしたら、自分のイメージと体の動きに大きな差を感じました。今年の夏は、お蝶婦人目指して体力づくりしよーっと♪（な）

本年度も良い広報誌にしていきたいと思います。ご意見・ご感想などあればお気軽に広報局までお願いします。（い）

初めて編集作業を担当しました。これからもさらに良い広報誌を作れるように頑張ります。（つの）

はじめまして。今日から参加させていただきます。よろしくお願いします。（河）

訪問看護室に異動となり早3ヶ月。悩み多く太りましたが、今年度もよろしくお願い申し上げます。（ふ）

勝沼のぶどう畑の多さにびっくりです。（米）

近々おひっこしをします。自分の（ムダな）荷物の多さにびっくりです。（塚）

広報2年目になりました。気持ちを改め、頑張っていきたいと思います。（ない）

日めくりカレンダーも半分に減っているんですね。時はめぐり、また夏が～♪♪ 時々振り返りたいこの頃です。

（しいたけ）

発行人：山本 伸一

編集人：飯野 知一・勝俣 奈央子・三枝 美和・塚田 有香・角田 幸一・内藤 和也・中村 雄・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

山梨厚生病院 〒405-0033 山梨県山梨市落合 860 TEL 0553-23-1311 FAX 0553-23-0168

印刷所：エンドレス（株）〒405-0014 山梨県山梨市上石森 123 TEL 0553-22-4574